そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりＮｏ．１２

２０２３年３月１４日発行

３月の聖句

『今は、主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい』

（エフェソの信徒への手紙５：８）

三月になると、北海道とは言え、もうすでに春の陽射し。
まだ寒い日もあるけれど、春です。
そして、三月は年長さんにとって旅立ちの季節です。
ことに、この三月「卒園」を迎える年長のお友達は、
この三年間、コロナ禍の中、歩んできました。
マスクをつけ、さまざまの制約の中で幼稚園時代を過ごしたこどもたちです。
しかしながら、その制約の中にあっても、よろこびを見出し、美しさに触れ、祈り、笑ったり、泣いたり…豊かな経験をし、成長してきました。たくましく。
さあ、聖十字幼稚園で培った「光」をうちに秘め、新しく歩み出します。
心から、祝福とエールをおくります。

（チャプレン　司祭　ヨハネいけだとおる）

しろくまちゃんのパンケーキ

しろくまちゃんとこぐまちゃんのみんなは
今年さいごの調理にチャレンジです。
さいしょに先生から「しろくまちゃんの
ほっとけーき」の絵本をよんでもらい
やる気はMAXです。
さいしょに バナナが入った袋を
順番にもみもみ、つぶしました。
そして泡たて器で粉やほかの材料と
まぜあわせるのも やりましたよ。

みんな よく 先生のお話をきいて、お友だちのこともよく見てました。
できあがったパンケーキは 1人 2枚でしたが
みんな おいしい！おいしい！とたいらげ、
おかわりも みーんな 2枚
合計4枚もたべました！
職員室にも立候補した
お友だちが2人で、ニコニコ
笑顔で届けてくれましたよ。
ごはんがすんだあとも、
さっそくおままごとで
パンケーキづくりをしていた
そうです。楽しかったんですね！

ぐりとぐらさんのカップケーキ

ぐりとぐらさんは カップケーキを作りました。
ついこの前の調理では、先生が両手をそえて
果物を切っていましたが、今回は最初に
ねこの手と包丁の位置を教えたら、先生は、そっと
横に立って見守り、みんな真剣に切っていました。
それに材料をうまぜるときも、
今までは先生がずっと側にいないと
取り合ったりもめたりしていたのに、
自分たちで「次だよ。」と順番を教え合ったり

楽しそうな笑い声、こんとあきさん集団遊び

3学期さいごの金曜日、こんとあきさんは
ホールでたくさん集団遊びをしました。

最初はハンカチおとしでスタート！今日で2回目です。
1回目はルールがよくわからず逆走したり、ハンカチがあっても
走らなかったりと、
なかなか
うまく
いかな
かったそう
ですが、
今回は
すぐにルールを
のみこんで
大盛り上がりで
楽しんでいました。
つかまって泣いたり
おこったりすることも
なかったそうです。

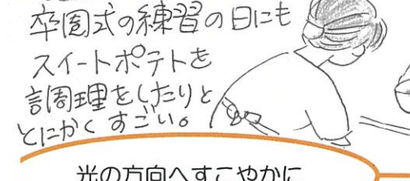
「1、2、3で半回り、1、2、3でクルッ！」
という歌でおなじみのラウンドチェーンも、
時々反対向きになってしまうこともありますが、
だいたいみんな上手に新しいペアのお友だちと
顔と顔を見合わせて大盛り上がり！

そして ビックサイズオセロでは
時間内にチームでどれだけ自分の色に
ひっくり返せるか 大声援でしたよ！

集団遊びでルールを理解する力や
フェアな心、応援したりチームで協力
する気持ち、感情を整えて楽しむ力…
たくさんの力が
育っているようです。

卒園まで大忙し！それでもめいいっぱい楽しむエルマーとりゅうさん

3月のエルマーとりゅうさんは目がまわる忙しさです。
たくさんの大事なスケジュールのすきまを縫うように、
すごく楽しんでる姿があります。
卒園までに手芸を仕上げたい子、
ロフトの「学校研究所」で
先生役と生徒役を楽しむ子、
「ひらめきのへや」の工作も
まだまだ熱心に
制作中！
つみ木や
ブロック、ラQも
高度でビューティフル！



卒園式の練習の日にも
スイートポテトを
調理をしたりと
とにかくすごい。

3月10日(金)には
泉久先生に
お茶を
点てて
いただき
おろしを
いただき
ました。

みんなとてもきれいな
所作で感激でした。

お別れ会のあとには、
それぞれのクラスからプレゼントを
もらい、
ギューッ！と抱きあい
ました。
すごく
かわい
がって
いる姿は
とっても
あたた
かかった
ですね。

光の方向へすこやかに

朝のこひつじの時間、自由にあちこちで遊びながら、また廊下を移動しながら、大きな声で気持ちよさそうに歌っている子が何人もいます。こんなにのびのび、心を開放してすごす毎日の時間。大好きな先生にくっついて甘えて安心している顔。けんかしても仲直りして、またすぐ一緒に遊べる柔らかい心。遊びに没頭している真剣な顔。玄関でしろこぐちゃんが追いつくまで振り返って待っていてくれるぐりぐらさん。子どもたちの姿に、いつも癒され、いつも明るい光が見えます。

そんな一年も無事に終わろうとしています。子ども達はもちろん、先生たちも本当によく頑張ってくれましたし、先生たちを支えて下さった保護者の皆さんの大きな力、あたたかさには、感謝の言葉をいくら述べても足りません。どうかこれからも子ども達のために、大人同士が手と手をつなぎ合う幼稚園でありますように。
そして、卒園するみんなの進む道が、いつもあたたかく明るい光に導かれますように。

菊地和子